

2003 年度

水口 勝負を仕掛け、惜しくも2位

防府読売マラソン (山口県: 防府市)

水口紀幸

マラソン 2時間15分21秒 (2位)



水口紀幸

水口 (大塚製薬
鳴門高出) 2位
17秒差

陸上の第34回防府読売マラソンは14日、山口県防府市陸上競技場発着のコースで行い、水口紀幸(大塚製薬、鳴門高出)が優勝した。佐藤浩紀(カネボウ)に17秒差の2時間15分21秒で2位に入った。

32キロすぎから水口と佐藤のマッチレースとなり、水口が先に仕掛けてスパートしたが佐藤に食い下がり、36キロ地点で抜かれた後は追いつくことができなかった。

結果出せなかった

○…マラソン4度目の挑戦で初優勝を狙っていた水口(大塚製薬)は「36キロ地点で抜かれてからは足が動か

なかった。勝負にこだわったのに、結果が出せなかった」と納得いかない表情。前半、ペースに波があり流れをつかみにくい展開

となったが、安定した走り先頭集団の中に、33キロすぎで一気にスパートしたが佐藤(カネボウ)に粘られて17秒差で敗れた。

「仕掛けたのが早かった

のか遅かったのか分からない。でも、ずるずると差をつけられて負けるより自分から勝ちにいった」。鳴門高から大塚製薬に入ってから6年目。心身ともに大きく成長してきた。木路コーチは「将来は日本のトップに立てる選手。この経験を次に生かしてほしい」と期待していた。